



【学校教育目標】
かしこい子
心豊かな子
すこやかな子

勝利目指して全力！助け合い，励まし合い，輝いた運動会・・・

9月28日（土），前日の雨も止み，澄み渡る青空のもと「滝沢小学校大運動会」を無事に開催することができました。

今年度は，昨年よりも2週間ほど遅い時期の開催でしたので，秋風の吹く清々しい天気の中で行うことができました。

当日は，保護者・来賓・地域等たくさんの方々に来ていただき，子ども達はもちろんのこと，観戦する方の応援や声援の声も響き渡り，盛り上がりのある運動会となりました。

子ども達は，9月中旬から2週間程の練習期間ではありましたが，真剣に練習に取り組み，日に日に上達する姿，競技の面白さを楽しむ姿が見られました。本番当日は，全力で走る姿やとびっきりの笑顔で踊る姿，真剣な表情で力を合わせて戦う姿，一生懸命に応援する姿等，子ども達の輝く姿がたくさんあふれていました。今年の運動会は，赤組の優勝となりました。勝敗はつきました。赤組・白組どちらにも優勝旗を授与したいほどの運動会となりました。

保護者の皆様には，この運動会に向けて感染対策や体調管理，子ども達への励ましなどたくさん支えていただきました。また，立見席や観客入れ替わり制，駐車場へ協力のおかげで，大きなトラブルもなく無事に終えることができました。改めて滝沢小学校の保護者の皆様の学校への協力意識の高さに感謝です。今後ともよろしくお願いたします。



【4・5・6年：滝小さんさ】

【運動会の様子：輝きの一コマ】



【1年：ダンス玉入れ】



【3年：大玉GO!GO!GO!】



【5年：台風の目】



【6年：騎馬戦】



【4年：綱引き】



【2年：逆転玉で一発逆転！】

自然写真家：松本紀生フォトライブ・・・自然の厳しさと美しさに感動！！

10月4日（金）の5・6時間目に、自然写真家：松本紀生さんのフォトライブを行いました。

今回は、NPO法人「キツキネットワーク岩手」からの紹介で、体育館工事が間に合うかどうか未定だった4月に、オーロラをテーマにアラスカの自然について映像と語りのフォトライブという内容を聞き、貴重な体験になると思い、実現の運びとなりました。

当日は、新しくなった体育館で5・6年生が松本さんからお話を聞きました。真っ暗の体育館でステージ一杯に映し出される幻想的な映像と音楽、そして、松本さんの軽快な話口調・・・子ども達は一瞬でアラスカの世界に引き込まれ、環境の厳しさや動物たちの力強さ、極限



【アラスカ：山々の頂上に伸びるオーロラ】

の環境下で過ごすための工夫など、普段の生活からは想像もできないような体験談に魅了されていました。フォトライブが終了してからの質問コーナーでも、たくさんの質問が出され、その答えを聞くたびに感嘆の聲が響いていました。

松本さんは、普段はアラスカで過ごしており、帰国したわずかな期間に全国を巡り、中高生を中心にフォトライブを開催しているということでしたが、今回は、岩手で初の小学校のフォトライブということで、滝小スペシャルバージョンに組み直して講演していただきました。自然の偉大さと生命力の素晴らしさを実感したひとときでした。

松本紀生さんのフォトライブの感想

6年1組 高橋 優羽奈

先週は、松本さんにアラスカの大自然の美しさやおもしろさなどについて教えてもらいました。私は、その中で心に残ったお話が二つあります。

一つ目は、オーロラです。私の中では、オーロラは緑色や青色の印象が強かったけれど、松本さんが作ってくださった映像を見て、緑色や青色のほかに、赤色やオレンジなどたくさんの色があることが分かりました。また、50日間アラスカにいても、オーロラはたった数回しか見られなかったのに、きれいな映像がとれていてすごいなと思いました。

二つ目は、生き物の様子です。普段見られない生き物の意外な一面をたくさん見ることができて楽しかったです。松本さんが、オオカミの鳴き声をまねすると、犬みたいに近づいてくるのが以外で、とてもビックリしました。

私は、この学習をする前は大自然の映像などをあまり見る機会がなかったので、この学習を通して、もっと大自然の映像を見てみたいなと思いました。

フォトライブの感想

6年3組 佐藤 つばき

私は、アラスカの色々な写真を見て、アラスカには色々な動物やきれいな景色がたくさんあることを知りました。そして、オーロラができる仕組みを分かりやすく説明してくれたので、色々なことを学ぶことができました。

私がフォトライブで一番びっくりしたことは、夏にはたくさんの蚊が飛んでいることです。日本では、蚊は約5ミリメートルほどあるけれど、アラスカでは、日本の蚊を上回る1センチメートル近くある蚊が何匹もいると思うとぞっとしました。また、アラスカの動物は、日本と比べると、とても警戒心がないことが分かりました。めったに見ることができない動物や景色を一度はアラスカに行って見てみたいと思いました。半年ほど1人でアラスカに行くのはさびしいし、冬は雪かきが大変だけれどそれでもアラスカに行き、写真家として活動している松本紀生さんはすごいと思いました。

私は、フォトライブを通して自然は豊かなものでもあるけれど、ときには恐ろしいものにもなるなど、自然への見方が変わりました。そして、紀生さんのようなきれいな写真をとって、見てくれる人に何かを伝えられたらいいなと思いました。

また、たくさんの写真絵本を出したり、色々なテレビに出演したりと忙しいはずなのに、学校などを回って啓蒙活動を行っているところが素晴らしいなと思いました。これからも身体に気を付けて活動して行ってほしいです。